

第9回小田滋賞選考経過及び授賞式の開催

一般財団法人国際法学会は、国際法、国際私法、国際政治・外交史の分野における研究を普及し、とくに将来を担う若手研究者の育成を促進するために、「小田滋賞」を設け、同分野に関する優秀な論文を顕彰しています。第9回小田滋賞の募集には、8編の応募があり、その内訳は、国際法7編、国際政治・外交史1編でした。また、応募者には7名の学部生が含まれていました。

応募論文の審査は、予備審査委員会による予備審査と選考委員会による選考の2段階に分かれます。予備審査の結果、5編の応募論文が最終選考の対象となりました。そして、これらの論文について、代表理事から選考委員に委嘱された桐山孝信教授、真山全教授、薬師寺公夫教授による厳正な選考が行われ、その選考結果に基づき、2022年5月22日（日）に開催された第54回理事会は、第9回小田滋賞の受賞者を以下のとおり決定しました。（敬称略、所属・学年は応募時のものです。）

最優秀賞

該当者なし

優秀賞 1名

白石 一颯（東京大学教養学部3年）研究分野：国際法

奨励賞 2名

神田 一樹（帝京大学法学部4年）研究分野：国際法

山口 貴大（香川大学法学部4年）研究分野：国際法

授賞式は、2022年9月6日（火）に開催された研究大会総会にて行われました。植木俊哉代表理事による挨拶の後、各受賞者に表彰状が授与され、会場から大きな拍手による祝福を受けました。その後、代表理事、選考委員、第5期国際関係法教育委員および受賞者による懇談会が行われ、各受賞者の論文テーマを中心に歓談の機会をもつことができました。

受賞者および応募者皆さんのますますのご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

第5期国際関係法教育委員会

委員長 森 肇志